



三中コミスク便り

第2号
令和5年7月発行
発行責任者
CSディレクター

令和5年度 コミュニティ・スクール（CS）活動報告

6/22(木)に第2回学校運営協議会を行いました。
今回は、まず、給食・授業と昼休みの球技大会を参観していただき、その様子について委員の皆さんよりご意見をいただきました。その後、総合的な学習の時間の見通しと課題、学校支援について熟議を行いました。



給食参観 (試食の様子)



献立

- ご飯
- 厚焼き卵
- しらすと大根の葉の炒め物
- つくね汁
- 赤丸トマト



<ご意見、感想など>

- ・栄養のバランスが良い。
- ・配膳の動線がよく、スムーズ。ロケーションも良く子供たちは幸せ。
- ・味付けは良いが、今日のメニューでは物足りないと感じる生徒もいるかもしれない。
- ・ヘルシーでおいしい。BGMが流れていて雰囲気が良い。
- ・献立が工夫されている。時代とともに食器も変化してきた。
- ・笑顔で食べている雰囲気が良い。
- ・学年全員で食べていることの良さがある。

球技大会参観



授業参観 (5時間目の様子)



<ご意見や感想>

- ・元気が良い。授業の楽しさが伝わってくる。聞く態度もよく、一生懸命である。教員が生徒に伝えようとする努力も伝わってきた。
- ・落ち着いて、よい姿勢で授業に取り組んでいた。生徒が前向きな態度で、素晴らしい。先生方の授業での工夫も感じられた。
- ・授業での活気を感じた。昼休みに行われた球技大会の余韻があるからなのか、雰囲気によさもあった。
- ・学年が上がるにつれて、生徒と先生の距離が縮まっているように感じた。情報モラルの授業では、現代的な内容を考える難しさがあるように思われた。
- ・昼休みの球技大会の運営のよさ、盛り上がりはすばらしく、授業での楽しさにつながっていると思われた。また、体育の授業でも、BGMで生徒のモチベーションを高めている工夫が見られた。
- ・一体感のある生き生きとした授業が見られた。
- ・整理整頓された教室で、よい環境で授業ができています。空席があり、不登校の生徒も一定数いるのではないかと。タブレットを活用する授業も見たい。
- ・全員が前向きで、笑顔が多く見られた。学校が楽しいと生徒が思えるように、これからも努力を続けていただきたい。
- ・教室の廊下側には窓がなく、開放的でよいと思うが、その一方で集中力を欠いてしまう生徒もいるのではないかと。
- ・集中力を高めて授業に取り組むことが大切だと感じた。



総合的な学習の時間の見直しと課題



2、3年生が毎週金曜日5、6時間目に総合的な学習の時間で、「20年後の三ヶ日町の活性化」を共通テーマに探究活動を行っています。その学習活動に関して学校運営協議委員の皆さんと話し合いました。

- ・「Marine」グループに関係していると思われる情報。浜松市では、津々崎の駐車場をマリンスポーツの聖地にしようという動きがあるので注視してもらいたい。浜松市のホームページにも掲載されている。
- ・総合的な学習の時間に必要な予算を集める工夫をしていきたい。「Sunoko」グループではスポンサーを募って活動資金とした。また、本年度は6月の台風の影響で総合的な学習の時間が削られてしまったので、放課後に時間をとって活動していく必要がある。学校でもそのことを了解して、公的に認めてもらいたい。

学校支援について

◎通学カバンの変更と校則の見直し

通学カバンを変更することによるメリットだけでなくデメリットも考慮していくべきだと思う。通学に30分以上かかる生徒がリュックを背負うことの負担なども考えていきたい。(委員)

生徒の考え方も知りたいので、生徒たちの話し合いの結果を公表していただきたい。その結果をフィードバックして検討を重ねたい。カバンの変更の問題は「置き勉」が今後どこまでOKになるかによって考え方も変わってくる。(委員)

柔らかいリュックの耐久性はどうか。3年間もつのかどうか、紐が劣化するという懸念もある。(委員)

「置き勉」は教科によってOKになっていると思う。(委員)

リュックのサンプルをもとに保護者の希望を聞いていきたい。(教員)

実際にリュックを使用してみても生徒の意見を確かめることも必要だと思う。(委員)

子供たちの意見をこの場で知らせることができるようにしていきたい。(教員)



令和6年度 記念式典開催を目指しています